



## AIファンドの運用を今振り返る

### ポイント



1. 高い運用実績は、幅広い投資対象がカギ
2. AI技術の活用事例
3. AIの今後と展望：なぜ今AIか

## 1. 高い運用実績は、幅広い投資対象がカギ

### ITのみでなく、産業とヘルスケアにも投資

「野村グローバルAI関連株式ファンド（以下、当ファンド）」は、設定から約2年半が経過し、右グラフの通り、高い運用実績を残してきました。当ファンドは、“AI先端技術は、幅広い業種に應用される”という想定のもと、AIの研究やその実用化に伴って投資魅力が高まると考えられる銘柄に注目して運用しています。

AIファンドといえば、通常はテクノロジー系企業などIT関連銘柄を想像するかもしれませんが、IT分野以外にも、産業分野やヘルスケア分野へと幅広く投資しているところが当ファンドの特徴です。テクノロジー企業のみ注目せず、その活用と実用化による経済効果も追っています。

実際に、AIはあらゆる社会問題や環境問題の解決策として期待されており、“研究室”から“現実社会”へと移行している段階にきています。次頁では、特に社会へのインパクトが大きかった活用事例を紹介します。

Bコース（為替ヘッジなし）の  
基準価額（分配金再投資）と世界株式の推移



期間：2017年2月23日（設定日）～2019年9月30日、日次  
基準価額（分配金再投資）については、4ページをご参照ください。  
世界株式：MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み）  
※米ドルベースの指数をファンドの為替評価基準に合わせて弊社が円換算（出所）ブルームバーグなどのデータを基に野村アセットマネジメント作成

＜当資料で使用した指数の著作権等について＞ MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックスはMSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

上記は過去の運用実績であり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 2. AI技術の活用事例

### 非現金決済で必要不可欠な不正利用対策

IT分野でパフォーマンスに大きく貢献した銘柄の一つは、非現金決済のセキュリティ対策にAIを活用した企業です。数年前からクレジットカードやQRコード決済の不正利用が社会的問題になっており、AI技術を活用した不正監視システムに期待が高まっています。従来のAI技術では、予め指定された規則や起こり得るシナリオを予測するためにプログラミングされて不正な電子決済を防いできましたが、ディープ・ラーニング（深層学習）技術を活用することによって、機械が自ら、リアルタイムに、異常取引の特徴を学習できるようになりました。そのため、カード利用者の利便性を損ねずに、サイバーセキュリティを強化できる新技術として高く評価されています。

### 医療業界を大きく動かす手術支援ロボット

ヘルスケア分野では、手術支援ロボットの技術開発が目立ちました。高齢化の進む日本にとって、医療の発達には国の財政にとっても極めて重要な課題です。人手不足の医療現場では、難易度の高い手術は一部の医師に患者が殺到しています。手術支援ロボットを利用することによって、短期間で“熟練の技”を実現できるため、解決策の一つとして注目されています。ロボットを活用することで、人間の腕では不可能な領域で不可能な動作をすることが可能になり、医療の発展にも大きく貢献してきました。このようにAIの技術革新が進むことで、高度な能力にアクセスすることが可能になってきました。今後様々な業種で“個々人の能力を拡張する”AI技術が期待されています。

#### サイバー攻撃からの防衛



掲載写真はイメージです。

#### 手術支援ロボット



掲載写真はイメージです。

上記は、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

### 3. AIの今後と展望：なぜ今AIか

#### IoTの市場規模拡大に着目

第3次AIブーム、第4次産業革命、Society5.0の時代で、核にあるのは、あらゆるモノがネットワークにつながり、リアルタイムで情報をやり取りする仕組み”IoT（Internet of Things）”です。そのIoTで集めたデータを分析し、規則性を発見するAI技術は幅広い業種で応用活用されており、IoTの世界市場規模は2025年には2019年比で約7.6倍に拡大すると予想されています。

自動運転、無人スーパー、完全自動の手術ロボットなど、AIによる自動化は、既存のやり方では考えられなかった生産性の向上や効率化を実現可能にします。

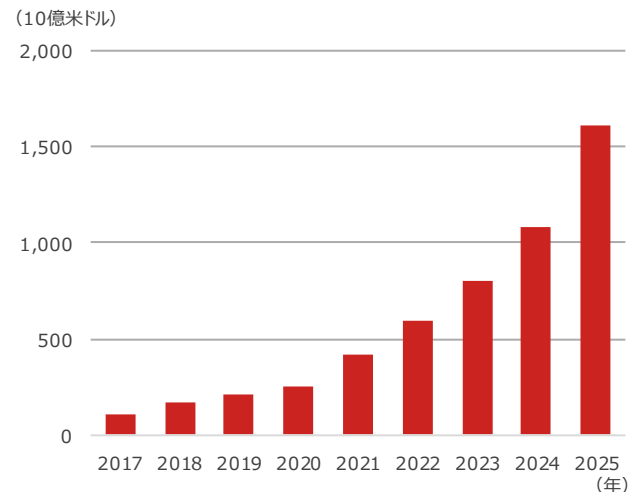
#### 農業にもAI！

日本全体で高齢化と労働力不足が進行する中、特に農業界が深刻です。農業関係者の平均年齢は67歳を超え、後継者不足から、限られた人数で成果を上げる生産性向上や効率化が、極めて重要な課題となっています。

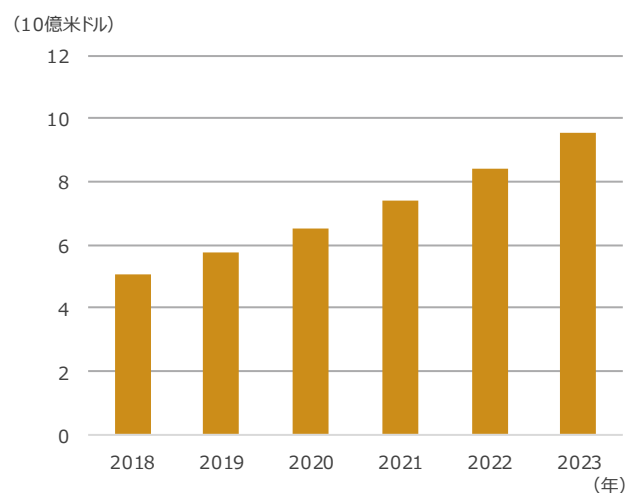
そこで注目されているのが、AI技術を活用した”精密農業（Precision Farming）”で、世界市場規模は2023年には2019年比で約1.7倍に拡大すると予想されています。精密農業は、データを活用することで肥料・薬剤・水・燃料などのコストを最小化し、収量の最大化を目指す営農技術であり、味や品質向上、重労働の軽減を叶える支援ツールなどにも応用されています。AI技術はこれまでの”限られた分野のもの”というイメージから、”様々な分野で応用ができるもの”として実用化が期待されています。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

#### IoTの世界市場規模



#### 精密農業の世界市場規模



## 「野村グローバルAI関連株式ファンド」

## ファンドの運用状況

## 基準価額の推移

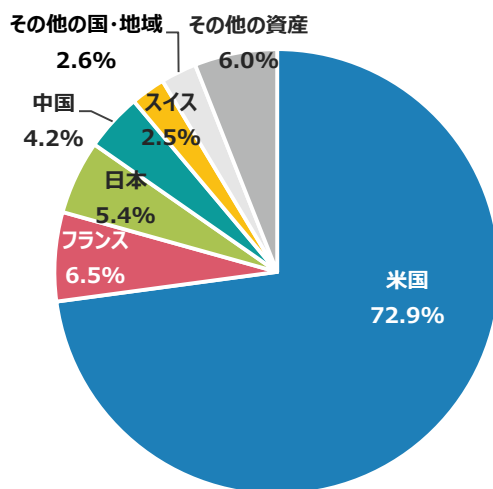
期間：2017年2月23日（設定日）～2019年9月30日、日次



基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したもとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

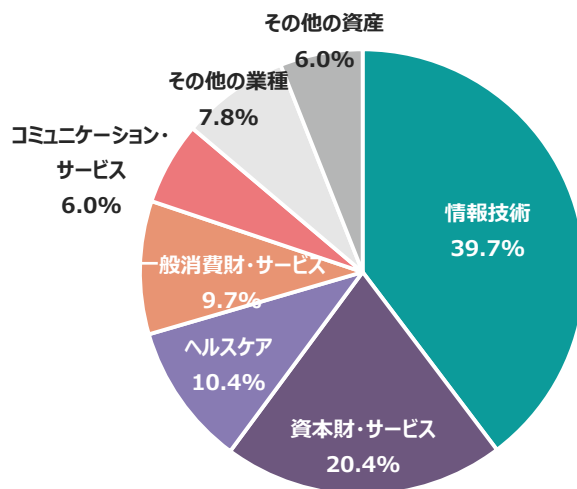
## 国・地域別配分（純資産比）

2019年9月30日現在



## 業種別配分（純資産比）

2019年9月30日現在



国・地域は原則発行国・地域で区分しています。業種はGICS（世界産業分類基準）のセクター分類によります。四捨五入により、合計が100%とならない場合があります。純資産比はマザーファンドの数値です。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 「野村グローバルAI関連株式ファンド」

## 【ファンドの特色】

- 信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。
- 新興国を含む世界各国のAI(人工知能)技術関連の株式(DR(預託証券)<sup>※1</sup>を含みます。)を実質的な主要投資対象<sup>※2</sup>とします。
  - ※1 Depository Receipt(預託証券)の略で、ある国の株式発行会社の株式を海外で流通させるために、その会社の株式を銀行などに預託し、その代替として海外で発行される証券をいいます。DRは、株式と同様に金融商品取引所などで取引されます。
  - ※2 「実質的な主要投資対象」とは、「野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- 償還金額等が企業の株式の株価に連動する効果を有するリンク債、金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている株価指数連動型上場投資信託証券(ETF)および不動産投資信託証券(REIT)ならびに企業の株式の株価に係るオプションを表示する証券または証券も含まれます。
- 銘柄選定にあたっては、グローバルな視点でAI先端技術の研究成果に着目し、AI技術の実用化に伴って投資魅力が高まると考えられるAI関連分野<sup>※</sup>の銘柄群を中心に利益成長に着目した銘柄選択を行ないます。
  - ※ 当面は、主なAI関連分野として「IT関連(フィンテック、ソフトウェア、セキュリティ等)」、「産業関連(IoT、ロボット、自動運転等)」、「医療・ヘルスケア関連(新薬、機器、新治療法開発等)」に注目します。
- 株式の実質組入比率は、原則として高位を基本とします。
- 「Aコース」は原則として為替ヘッジを行ない、「Bコース」は原則として為替ヘッジを行ないません。
- ファンドは「野村グローバルAI関連株式ファンド マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングができます。
- 原則、毎年5月および11月の14日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。
  - \* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

## 【分配金に関する留意点】

ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することとなります。

## 「野村グローバルAI関連株式ファンド」

## 【投資リスク】

各ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

## 【お申込メモ】

- 信託期間 2027年11月15日まで(2017年2月23日設定)
- 決算日および収益分配 年2回の決算時(原則5月および11月の14日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1口単位(当初元本1口=1円)  
または1万円以上1円単位  
(ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動けいぞく投資コースがあります。原則、ご購入後にご購入コースの変更はできません。)  
※お取扱コース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スイッチング 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングが可能です。  
※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が、下記のいずれかの休場日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。  
・ロンドン証券取引所・ニューヨーク証券取引所
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。  
詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 【当ファンドに係る費用】

(2019年10月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.705%(税抜年1.55%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 *ファンドが実質的に投資するETFでは、管理報酬等の費用がかかります。投資するETFを通してファンドが実質的に負担する費用については、運用状況等により、投資比率、投資期間、投資銘柄およびその管理報酬等の費用が異なるため、事前に合計した料率、合計額、又は上限額等を表示することができません。
◆その他の費用・手数料	組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額 (ご換金時、スイッチングを含む)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に依りて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

## ◆お申込みは

## 野村証券

商号：野村証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号  
加入協会：日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／  
一般社団法人金融先物取引業協会／  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

## ◆設定・運用は

## 野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会／  
一般社団法人日本投資顧問業協会／  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

●サポートダイヤル ☎ 0120-753104 <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<http://www.nomura-am.co.jp/>



**【当資料について】**

- 当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

**【お申込みに際してのご留意事項】**

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。